

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	英語A	担当教員	亀山 太一		
学年学科	1年 CA 学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(C-2)100%				
授業の目標と期待される効果: 英語コミュニケーション活動を通し、 1. 英文の語・句・節、および文の構造とその構成要素を正しく判断し、理工系の文脈にあった、正確な英文を書くことができる。 2. 中学レベルの理科と数学で扱われる内容の専門用語を正しく綴り発音することができる。また、数や単位、数式や公式など、科学的な事象の記述の基礎表現を、自然な英語で音読できる。 3. 科学的な事象の記述に多用されるパラグラフの構造を正確に分析し、トピックを中心とする正しい情報の読み取りができる。 4. 科学的な事象の記述に多用される以下の表現を使って、簡潔で明確な英文で書くことができる。 5. 中学レベルの理科と数学の内容について、簡潔で自然な英語を使って、口頭で内容を伝えることができる。 高専生として、英語力をつけていくための基礎基本となるものであり、毎時間を大切に取り組んでほしい。教員は英語中心の指示で授業を進める。		成績評価の方法: 試験 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 100 点 学年：前期・後期の重みを等しくして合計し、得点率 (%) で成績をつける。 達成度評価の基準: 以下の項目に関する教科書レベルの試験・課題の総合点が 60%以上に達すれば合格とする。 ①文法知識 ②語彙力・中学レベルの理科と数学で扱われる内容の専門用語 ③文法知識と語彙力を基にした読解力 ④文法知識と語彙力を基にした英語作文力 ⑤日常英会話レベルの基本的な内容のリスニング力			
授業の進め方とアドバイス: 授業には必ず英和辞書を持参すること。指示された予習は必ず行い、わからない単語は辞書で調べてから授業に臨むこと。各授業の復習を欠かさず行い理解できていない点は、後回しにせずその都度教員に質問するようにして、理解と定着に努めること。毎時間、「英語力がついた」と実感できるよう積極性を持って授業に参加してほしい。					
教科書および参考書: Fundamental Science in English I (成美堂)					
授業の概要と予定: 前期					ALのレベル
第 1回: ガイダンス、数・単位・数式の読み方、品詞と文構造の基礎					
第 2回: Lesson 1 Numbers and Calculations Part 1, 2、辞書指導					B
第 3回: Lesson 1 Numbers and Calculations Part 3, 4					B
第 4回: Lesson 1 Numbers and Calculations 文法・表現のまとめ Lesson 2 Figures Part 1					B
第 5回: Lesson 2 Figures Part 2, 3					B
第 6回: Lesson 2 Figures Part 4, 5					B
第 7回: Lesson 2 Figures 文法・表現のまとめ Lesson 3 State of Substance Part 1					B
第 8回: 中間試験					
第 9回: Lesson 3 State of Substance Part 2, 3					B
第10回: 答案返却、要点解説 Lesson 4 Graphs and Functions Part 1					B
第11回: Lesson 4 Graphs and Functions Part 2					B
第12回: Lesson 4 Graphs and Functions Part 3 文法・表現のまとめ Let's try					B
第13回: Lesson 5 Human Body Part 1,2					B
第14回: Lesson 5 Human Body Part 3, 4					B
期末試験					
第15回: 答案返却、要点解説					B

授業の概要と予定:後期	ALのレベル
第16回:Lesson 6 Electricity Part 1, 2	B
第17回:Lesson 6 Electricity Part 3, 4	
第18回:Lesson 6 Electricity 文法のまとめ Let's try	B
第19回:Lesson 7 Heat Part 1, 2	B
第20回:Lesson 7 Heat Part 3 文法のまとめ	B
第21回:Lesson 8 Stars and Planets Part 1, 2	B
第22回:Lesson 8 Stars and Planets Part 3, 4 文法のまとめ	B
第23回:中間試験	
第24回:Lesson 9 Ions Part 1, 2	B
第25回:Lesson 9 Ion Part 3	B
第26回:Lesson 10 Energy Part 1, 2	B
第27回:Lesson 10 Energy Part 3, 4	B
第28回:Supplement 1	B
第29回:テスト前復習	B
期末試験	
第30回:2年生へ向けて、振り返りとまとめ	B

評価(ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	英文の語・句・節、および文の構造とその構成要素を正しく判断し、理工系の文脈にあった、綴りや文法に誤りのない正確な英文を書くことができる。	英文の語・句・節、および文の構造とその構成要素を正しく判断し、理工系の文脈にあった、おおむね正確な英文を書くことができる。	英文の語・句・節、および文の構造とその構成要素を正しい判断ができない。また、綴りや文法事項に誤りのない英文を書くことができない。
②	中学レベルの理科と数学で扱われる内容の専門用語を正しく綴り発音することができる。また、数や単位、数式や公式など、科学的な事象の記述の基礎表現を、自然な英語で音読できる。	中学レベルの理科と数学で扱われる内容の専門用語を、おおむね正しく綴り発音することができる。また、数や単位、数式や公式など、科学的な事象の記述の基礎表現を、おおむね自然な英語で音読できる。	中学レベルの理科と数学で扱われる内容の専門用語を正しく綴り発音することができない。また、数や単位、数式や公式など、科学的な事象の記述の基礎表現を、自然な英語で発音できない。
③	科学的な事象の記述に多用されるパラグラフの構造を正確に分析し、トピックを中心とする正しい情報の読み取りができる。	科学的な事象の記述に多用されるパラグラフの構造をおおむね正確に分析し、トピックを中心とする情報の読み取りができる。	科学的な事象の記述に多用されるパラグラフの構造の分析ができず、トピックを中心とする情報の読み取りができない。
④	科学的な事象の記述に多用される表現を正しく使って、簡潔で明確な英文で書くことができる。	科学的な事象の記述に多用される表現をおおむね正しく使って、簡潔で明確な英文で書くことができる。	科学的な事象の記述に多用される表現を正しく使うことができず、簡潔で明確な英文で書くことができない。